

## 第V章 大綱・基本方針

福山城跡は、近世においては備後福山藩の政治・経済の中心として、また明治以降は地域の有志や多くの市民により公園として維持され、約400年もの長きにわたり大切にされてきた。明治維新の変革や太平洋戦争の戦禍といった苦難にあっても、市民自らの力で支え、復興してきた。

先人が大切にしてきたこの“福山の宝”を、適切に保存し確実に未来へ継承するため、「福山城の価値と魅力を引き出し、行政・市民・地域で守り、活かす」ことを基本理念として、保存・管理及び活用・整備を図ることとし、大綱・基本方針を次のとおり定める。

### 本質的価値の維持・保存と活用

史跡福山城跡としての本質的価値を尊重し、史跡を構成する要素の規模、形態、性質などを考慮して、持続可能な体制を整え、保存・管理及び活用を行う。

### 保存・管理の方法の提示と現状変更等に関する取扱基準の明確化

史跡福山城跡を構成する要素の適切な保存・管理の方向性と方法を示すとともに、今後予想される史跡内における各種現状変更等の行為に対しての取扱いの方針と具体的な基準を定める。

### 周辺環境の保全

史跡福山城跡と一体として捉えることができる周辺地域の環境保全に向けての取組を行うとともに、周辺地域に分布する関連遺跡の調査を進め、保存・管理の方針を示す。

### 遺跡の特性や現状に即した保存・管理と活用・整備

史跡福山城跡は、市街地の中心に位置し、市民の日々の生活の中にある遺跡であるという特性から、変化を必要とすることも考えられる。史跡としての本質的価値に鑑み、“許容できる変化”と“守り残さなければならない根本的な価値”を見極め、地域の方々の生活との折り合いをつけながら、次世代に継承するための適切な保存・管理と活用・整備の方針を示す。

### 運営・体制の整備

地域に根差した包括的な保存・管理と活用・整備を進めるためには、行政だけでなく地域住民、団体等の協力が不可欠である。史跡としての本質的価値の継承と地域ニーズへの対応の両立を図るため、効果的で持続可能な事業の運営・体制の整備の方向性と方法を示す。